



## 2月定例市議会

# 平成20年度 仙北市一般・特別・企業各会計の 全予算案を可決（一部賛成多数で）成立す

# 一般会計当初予算は181億3700万円 20年度全会計予算純計（各会計の重複を除く）は 368億2,650万円

仙北市議会二月定例議会は、二月二十六日から三月十九日まで、二十三日間の会期で開催された。

議案上程の後に行われた一般質問には九氏が登壇した（仁政クラブ二、翠鸞会二、創成会一、政真会二、共産一、外一）。

二月定例議会への上程議案は平成二十年度一般・特別・企業各会計予算案十六件、条例の制定五、一部改正十三、平成十九年度の各会計補正予算案十二件など五十八議案。

議案の審査は所管の各常任委員会に付託され行われた。

十九日の最終本会議で、各常任委員長の審査報告、討論が行われ、採決では全議案を原案通り可決（七議案は賛成多数で）した。

続いて副市長人事案が追加提案され、投票による採決の結果、賛成多数で可決し閉会した。

## 平成二十年度予算 で借換債、総額 十一億四百十万円

財務省は二月、公的資金を貸し付けた地方公共団体に対して、補償金を免除した繰り上げ償還を認め、秋田県では仙北市など二十一団体を承認した。国は昨年度から三年間、財政健全化を進める自治体を支援するため、補償金免除の申請を受け付けていた。仙北市では、一九九二年五月まで

に起債した金利五%以上の公的資金四億九百六十三万円を繰り上げ償還した。平成二十年度予算では一般会計含む六会計で総額十一億六百八十五万円を繰り上げ償還し、金利の低い繰上償還に借り換える予算を組んでいる。これは財政事情の厳しい自治体が、財政健全化に向けた経営計画を提出し、財務大臣が承認した団体に認められるもの。

## 平成20年度仙北市会計別予算総括表

会計名	本年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較(千円)	伸び率(%)
一般会計	18,137,000	18,088,000	4,900	0.3
集中管理特別会計	4,920,300	5,029,900	△109,600	△2.2
下水道事業特別会計	1,182,700	974,700	208,000	21.3
集落排水事業特別会計	776,100	625,500	150,600	24.1
浄化槽事業特別会計	113,800	129,000	△15,200	△11.8
国民健康保険特別会計(事業勘定)	3,618,300	3,791,600	△173,300	△4.6
国民健康保険特別会計(田沢診療施設勘定)	35,900	35,500	400	1.1
国民健康保険特別会計(神代診療施設勘定)	97,900	96,600	1,300	1.3
老人保健医療特別会計	374,824	3,863,604	△3,488,780	△90.3
後期高齢者医療特別会計	313,040	0	313,040	皆増
介護保険特別会計	943,500	928,500	15,000	1.6
生保内財産区特別会計	62,800	67,300	4,500	△6.7
田沢財産区特別会計	23,200	28,500	5,300	△18.6
雲沢財産区特別会計	2,943	2,670	273	10.2
簡易水道事業会計	229,600	248,300	△18,700	7.5
病院事業会計	6,303,166	5,490,491	812,675	14.8
温泉事業会計	36,950	46,703	△9,753	20.9
水道事業会計	914,792	835,029	79,763	9.6
合計	38,086,815	40,281,897	△2,195,082	△5.4

※企業会計については、収益的支出及び資本的支出の合算額を掲載した。



# 東海林副市長退任に伴う副市長人事案 浦山清悦氏の選任に同意す

## 議員報酬改正の議員提出議案 8%引き下げを賛成多数で可決す

**新副市長に元職員  
の浦山清悦氏  
(六二)を選任**

東海林副市長が三月三十一日をもって退任することに伴い、浦山清悦氏(六二・仙北市田沢湖田沢字蟹沢口二三一)を副市長に選任する事の同意を求める追加議案が十九日の最終本会議に追加提案された。

無記名投票による採決の結果、賛成十七、反対五、無効一、の賛成多数で選任に同意した。



**浦山清悦氏**  
生年月日 昭和20年11月17日生  
学歴 秋田大学学芸学部卒業  
(角館高校)

**議員報酬引き下げ  
の議員提出議案、  
意見別れ二本が**

仙北市議会議員の報酬を5%引き下げて支給する条例が三月末で切れる事から、市議会では以前からその後の対

応を行革特別委員会で協議してきた。条例の期限が迫ってきた二月定例会では会派代表者会議に席を移して対応を協議。一時5%の報酬引き下げで合意したが再び決裂。行革特別委員会でも合意となつた5%引き下げすべき側と8%引き下げとすべき側と真つ二つに分かれた。その後数回にわたつて一本化の協議が行われたが合意とならず、それぞれの議員提出議案を出す事となつた。

本会議では8%引き下げ案が先に審議され、大激論の末起立多数で可決成立した。この為5%引き下げの議案は議決不要となつた。

### 議会議員の報酬 新旧比較 (月額)

	旧	新	比較
議長	408,000 円	議長 375,000 円	△33,000 円
副議長	357,000 円	副議長 328,000 円	△29,000 円
議員	340,000 円	議員 312,000 円	△28,000 円